

長島研究室・長坂研究室卒業生への 卒業論文・修士論文の送付について

研究室卒業生の皆様

拝啓 研究室卒業生の皆様方には時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

早いもので、長島先生がご定年を迎え横浜港のマリーンルージュ船上で記念の OB 会を 2004 年に開催してから、間もなく 7 年が経過します。研究室の最新の状況はホームページ <http://www.naga.sd.keio.ac.jp> で発信しておりますが、伝統を受け継ぎながらも新しい研究分野を開拓しつつあります。

現在までに、約 400 名が研究室を卒業しております。その間、卒業論文と修士論文 515 冊が書かれてきました。すべての保管は不可能ですので、2006 年 3 月に昭和世代の論文をすべて OB にお送りしました。今回もスペースの制約上保管が不可能になった 1989 年度～1997 年度の 147 冊を卒業生の皆様に返却させて頂くことにしました。ご理解頂ければ幸いです。

- 1989 年度～1997 年度の卒業論文と修士論文 147 冊を卒業生に返却する。
- ただし、複数論文を 1 冊に製本してあるため、代表 OB（こちらで勝手に決めさせて頂きました）に送付する。
- 送付等の費用は、OB 会の残金でまかなう。（不足の場合は研究費を使用する。）

突然、研究室から厚い書類が送られて来て驚かれたと思いますが、他の卒業生の方々と是非連絡を取り合い、「昔の論文」をネタに飲むか、あるいは分割やコピーする等して渡して頂ければ幸いです。念のためですが、関連 OB の最新の住所データを添付いたします。（現状ベストですが、必ずしも正しいわけではありません。）

以上、よろしくお願ひ致します。

平成 23 年 4 月

長坂 雄次